

はだの 農業委員会だより

第112号
平成23年12月発行

編集・発行

秦野市農業委員会

〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号

TEL 0463-82-9654

E-mail noui@city.hadano.kanagawa.jp



本日開店 秦野の農村レストラン

第64回秦野たばこ祭りの2日間にわたり、「秦野の農村レストラン」が開店。市内農業者団体と日頃から農産物を加工している方々によって販売が行われ、2日間で約7千食が完売しました。
(4頁に関連記事あり)

おもな内容

- 市長へ建議書を提出 ----- 2
- 荒廃農地解消実践活動報告 ----- 3
- 秦野の農村レストラン ----- 4
- 農業委員紹介 ----- 5

- 農家の声・農産物品評会受賞者の声 ----- 6
- 相談コーナー 他 ----- 7
- カメラスケッチ 他 ----- 8

平成24年度秦野市農林業施策並びに予算に関する建議書を古谷市長に提出

農地の保全・有効利用対策、担い手・経営対策、地域の活性化対策、及び有害鳥獣対策等について、15項目を要望しました。



農業委員会では、農業者の声を市政に反映できるように、農業委員を通じて農家の皆様から寄せられた意見・要望を建議として取りまとめ、8月18日、古谷市長に対し、「平成24年度秦野市農林業施策並びに予算に関する建議書」を提出しました。建議書提出に際して行われた農業委員と古谷市長との懇談会では、担い手育成やサル等の有害鳥獣による被害対策などの意見交換が行われました。

農業委員会活動を周知 若手農業者と交流会を実施

9月2日、JAはだの青年部（村上幸雄部長）の部員11名と農業委員会会長や会長職務代理ら総勢16名が参加してJAはだの本町支所で交流会が行われました。

もりたいと、開催されました。農業委員会制度の概要や農地法などの説明を受けた後、新東名用地に収用される農地の代替地の問題や荒廃農地対策など、活発な意見交換が行われました。参加した青年部の部員は、

県外農業優良事例研修会 愛知県田原市他

10月27日、28日の2日に行われ、愛知県田原市等において、農業委員20名が参加して県外農業優良事例調査研修会が行われました。

1日は、田原市の道の駅「田原めつくんはうす」を視察しました。「めつくんはうす」とは、農業をはじめとする産業や文化などの芽が発展して成長する家という意味だそうです。また、田原市農業委員会では、農地の利用状況調査の方法や耕作放棄地対策など

について意見交換が行われました。

2日目に視察したあぐりタウン「げんきの郷」は、地産地消こだわり農産物直売所や地元の食材を使ったレストランやパン工房、さらには、天然温泉施設もある複合施設で、年間200万人以上も来場する人気だそうです。生産から販売、加工、消費の一環システムと農・商・工の連携による六次産業化が図られ、新しい



挨拶をする和田稔農業委員会会長

「遠い存在であった農業委員が身近に感じられた」と話していました。

女性農業委員誕生

10月1日、秦野市市議会から新しい農業委員4名が推薦され、そのうち2名は地域の女性農業者の中心的存在の女性農業者と女性議員1名で、合わせて3名の女性委員が誕生しました。神奈川県内で3名の女性委員が誕生するのは初めてです。



左から
木村委員
和田委員
古谷市長
和田会長
久保寺委員
小清水委員



「田原めつくんはうす」では、1000円均一の野菜やメロンなどの特産品などを豊富に取り揃えています

い地産地消のありかただと思います。（久保寺 孝一 農業委員）





荒廃農地解消実践活動



ほくほく秋の収穫



10月23日に、荒廃農地解消ボランティアが中心となって今年の6月に作付けしたサツマイモの収穫が落合事業地で行われました。前年は天候不順のため収穫量が少なく、今年の収穫量も心配されましたが、順調に生育し、大きく育ったベニアズマがたくさん収穫されました。参加したボランティアの方々も大収穫にひと安心した様子でした。

市民の目で活動報告

11月3日、運動公園周辺で行われた「市民の日」に荒廃農地解消実践活動を広く来場者に理解してもらうために、荒廃農地解消ボランティアが中心となって行政コーナーに出店しました。

この解消活動を啓発するため、落合事業地の解消前の状態と解消後の状態が紹介されたパネルが展示され、興味深く見ている方もいました。

落合事業地



業地で採れたベニアズマとそのサツマイモを使ったサツマイモスティックも販売されボランティアは、「以前は荒廃農地だった畑で採れたサツマイモです。」とアピールしながら販売していました。

大豆の収穫を体験



11月6日、落合事業地で荒廃農地解消ボランティア10名と東小学校の児童4名が参加して大豆の収穫が行われました。

この収穫は、農業委員会とボランティアで企画された「味噌づくり体験」を通して地元の小学生対象に荒廃農地解消実践活動の周知と農業体験の場を提供することによって農業への親しみを持つってもらう目的で行われました。今年参加者は3年生から6年



生まで合計15人で、中には以前にも参加した児童もいました。参加した児童は、「自分が蒔いた小さな種に沢山の大豆が出来て嬉しかったです。」と感想を話していました。なお、味噌作りは来年行われる予定です。

家族経営協定を締結

10月25日、堀山下の村上茂さんのご家族が秦野市で3例目の家族経営協定を締結しました。

調印式には、和田稔農業委員会会長が立会人として出席し、今後の更なる経営発展に高い期待を寄せました。



協定書を手にした後継者の村上耕一さんを中心に調印式参加者全員での記念写真

農地の利用状況調査の実施について

秦野市農業委員会では、優良農地を守るため、農地の利用状況の把握を目的として、12月末までに農地の利用状況調査を実施します。

その際、農業委員が農地内に立ち入ることもありますが、ご協力をお願いいたします。



市内初

秦野の農村レストラン



9月24日、25日に行われた第64回秦野たばこ祭において、秦野の農村レストラン実行委員会（大木敏子会長）により「秦野の農村レストラン」が秦野橋付近で開店されました。秦野たばこ祭は毎年2日間、約20万人が訪れる市内最大のイベントです。そこでぜひ秦野産の農産加工品やブランド農産物を来場者へ広くア

ピールしようと、開店しました。名前は、素朴な感じを出すために「秦野の農村レストラン」と名づけられました。会場は人通りが多く食材などの搬入や搬出が大変でしたが、多くの来場者で賑わっていました。実行委員会は、市と農協が実施する農産加工起業セミナーの修了者や日頃から「は



また、東海大学教養学部学生20名の皆様も、地元の農家の方々との交流を通して秦野の農業への理解を深めるた

だの「じばさんず」に加工品を出荷している農家の人たちを中心に組織され、その農産加工技術を使った料理や、昔から地元では食べられていた素朴な味の料理が提供されました。メニューには参加した農家自身が丹精込めて作った野菜や秦野産の食材が使用され、味噌を添えた手作りこんにゃくおでんや冷やしキュウリ、落花生風味のドーナツ、ブルーベリージュースなど9品目の料理が2日間で約7千食余りが完売するほどの人気でした。



め、ボランティアとして参加しました。参加した農家は、「秦野市では、初の試みでもあり、本



当にお客さんが来てくれるのかどうか。また、多くのお客さんに来て頂いても対応できるかどうかと心配しましたが、無事乗り切ることができ、安心しました。」とほっと胸をなでおろしていました。

1/10まで 提出は農業委員会へ 選挙人名簿登載申請書

農業委員会選挙人名簿登載申請書の提出を期限までにお忘れなく。次のところで受け付けています。

申請用紙が届いていない場合は、農業委員会事務局へご連絡ください。

- 農業委員会（市役所西庁舎 1階）（郵送でも可）
- 各公民館
- 地区農業委員
- 生産組合長
- はだの都市農業支援センター（農業団地センター 1階）



提出期限：平成24年1月10日（火）

問い合わせ：農業委員会事務局 82-9654

農業委員紹介コーナー



清水富美子 委員(議会推薦)



● 3月31日生まれ

おひつじ座

● 血液型 O型

● 性格 楽天的

● 趣味 登山

● 主な作物 米、落花生

Q A

自分で作ったものが食べられるという

こと。それが

が何よりも

幸せなこと

と思っています。



久保寺則子 委員(議会推薦)



● 1月21日生まれ

みずがめ座

● 血液型 O型

● 性格 一生懸命やること

(結果は?)

● 趣味 料理(食品加工)

● 主な作物 苺、落花生、小麦、大豆、そば、その他野菜

Q A

女性農業者の視点と経験を

生かして、秦野市の農業に寄与

していきたいと思えます。どうぞ

よろしくお願いいたします。

木村 眞澄 委員(議会)



● 10月16日生まれ

てんびん座

● 血液型 O型

● 性格 正義感が強い、

時々几帳面

● 趣味 ウォーキング、詩吟

Q A

秦野市の農業の発展を願い、

農業委員として農地の保全等

に向けて委員の皆様方と一緒に

に精一杯活動してまいりたい

と思えます。

和田 厚行 委員(議会)



● 1月2日生まれ

やぎ座

● 血液型 A型

● 性格 お人よし

● 趣味 将棋

● 主な作物 うるち米、もち米、野菜等

Q A

農家の高齢化の進行や後継

者不足による荒廃農地の拡大

を憂慮する。

農業の維持、発展に向けて、

又荒廃農地の解消に努力する。

和田 稔 委員(上地区)



● 9月13日生まれ

おとめ座

● 血液型 AB型

● 性格 せっかち、涙もろい

● 趣味 ウォーキング

● 主な作物 温室バラ

Q A

鳥獣からの被害が少ないと

思われる作物を振興作物にと

上地区営農推進協議会で取り

組みを始めました。

収穫間際でガツカリするこ

となく、農産物の安定した生

産活動ができることを願いな

がら、地

域の皆さ

んと挑戦

してい



農家の声



「僕の歩く道」

露木 徳行 (平沢)



私の家は両親と3人で露地野菜を作っています。就農した頃は市場出荷のみでしたが私が仕事の段取りをするようになった頃、ちょうど「じばさんず」が出来、今までの作り方ではいけないと思い、少しずつですが多品目化をしていっています。しかし、両親も若くはないので、なるべく両親には負担をかけないように品目を選んでいきます。

また、最近は直売という利点を活かそうと思い、行ける時は開店後に出荷をし、お客

さんとコミュニケーションをとるようにもしています。自分の商品の売り込みというよりは雑談の方が多くなるのですが、何を欲しがっているのか、どういう荷姿の方が良いかなどの話も聞けるのでとても有意義です。それに時々ですが私の作った野菜が「美味しかった、いつも買っているよ。」と言ってくれるお客さんもらいます。

私は今、神奈川県農協青壮年部協議会で書記長をしています。農政・税制等の勉強が出来るのは勿論、為になるのですが、やはり色々な地域の盟友と交流が持てるというのが大きいです。やはり横の繋がりは広くしたいですし、農業を続けていく上で大事なことだと思っています。実際、県青協に参加して自分が変わるのが実感できました。神奈川県には若い盟友も多くいるので、

第47回 秦野市農産物品評会 優秀賞受賞者決まる!

平成23年11月18日から3日間、JAはだの団地センターで第47回秦野市農産物品評会が開催され、丹精込めて育てられた農産物や加工品など551点が出品されました。

県青協が今まで以上に交流の場所になればとの目標もできました。

正直な話し、私は役員をやったり、お客さんと話したりするのが得意な方ではありませんでしたが、やってみて今の考え方を持てるようになったと思います。これからも出来る限り交流をしていきたいと思っています。また、仕事の方もお客さんの意見を取り入れ新たな品目を入れ、減農薬にも取り組んで行こうと計画しています。地道ですが、前に進んで行こうと思っています。

優秀賞を受賞された次の6名の方は農業まつりオープニングセレモニーで紹介されたほか、20日に授賞式も行われました。



オープニングセレモニーで紹介される受賞者たち

したところ受賞できたのでびっくりしています。
野菜類 (いちご) 飯田 進 (西)

見てきれいで、食べて美味しい農産物を目指して、有機肥料を使って育てました。まだ、時期的に早かったのですが、受賞できて良かったです。

果実類 (キウイフルーツ) 尾澤 英太郎 (大根)

美味しいキウイフルーツを多くの方々にお届けできるように頑張って作った結果、受賞できて嬉しいです。

花き類 (バラ) 谷 茂 (西)

全国的にもレベルが高い秦野のバラですが、その中で受賞できたのはラッキーでした。

食品加工類 (青瓜粕漬) 田代 千代子 (東)

自分で種をまいて育てた青ウリを自宅で漬けて出品しました。受賞できて嬉しいです。

いも類 (里芋) 石原 和佳 (西)

里芋は尻が太いものが良いと言われているので、孫と一緒に作った里芋を出品

相談
コーナー



Q 農業委員選挙人名簿登録申請書が生産組合長から配られましたが、どうすれば良いのでしょうか？

A 来年6月の農業委員の改選選挙では、この登録申請に基づき選挙人名簿を作成します。そのため、登録申請書の提出がない場合は、農業委員会委員選出選挙の選挙権を取得することが出来ませんので来年の1月10日までに必ず提出をお願いします。

もしくはその配偶者の方
④耕作従事日数が年間おおよね60日以上の方
農業委員会では、該当されると思われる農家には全て申請書を送付していますが、申請書が届いていない農家の方は至急、農業委員会へご連絡ください。

Q 申請書には何を書けばいいのですか？

A 毎年、申請をされている方は、昨年の世帯員状況は記載してありますので、特に変更がなければ、耕作面積のみ記入してください。単位はオールでも平方メートルでもどちらでもかまいません。

Q 申請できる人はどんな人ですか？

A 次の要件に全て該当する方です。

- ① 秦野市に住所を有する方
- ② 平成4年4月1日までに生まれた方（20歳以上の方）
- ③ 耕作面積が10アール以上耕作を営む方、同居の親族、

Q 提出先はどこですか？

A 市役所の農業委員会事務局や都市農業支援センターへ提出してください。

近くの公民館や地元の農業委員でも受付しています。ま



た、郵便（料金受取人払）での提出もできます。
■問い合わせ
農業委員会事務局
電話 82-9654

農業委員会活動報告
(平成23年7月~10月)

- 総会
7月25日、8月25日、
10月6日、10月25日
(主な審議案件と件数は下表のとおり)
- 運営委員会
7月19日、8月18日、
10月18日
- 編集委員会
10月6日、10月25日
- 県外優良事例調査研修会
10月27日、28日



田原市農業委員会で意見交換をする農業委員

総会の主な審議案件と件数 (7月~10月)

審議案件	件数	面積
耕作目的の売買・賃貸 (3条許可)	7件	4,451.00㎡
市街化調整区域内の転用 (4・5条許可)	7件	5,371.00㎡
市街化区域内の転用 (4・5条届出)	97件	45,678.81㎡
相続税納税猶予(新規分)	1件	3,046.00㎡

神奈川県農業会議
賛助会員費のご協力を！

神奈川県農業会議では、農業生産に携わる農家の皆さんが、安心して農業経営を継続していけるよう、県知事への建議をはじめ、いろいろな農政対策活動を展開しています。



この活動に賛同していただける農家の皆さんに会員費の協力をお願いしています。会員費は、
農地基本台帳搭載農家1戸あたり
500円です。
ご協力をお願いいたします。

農地転用には許可が必要です

● 市街化調整区域内の許可申請は毎月10日です。
(事前に相談が必要となりますので、早めに相談してください)

● 市街化調整区域内の届出は、随時受け付けています。



カメラ
スケッチ



子どもたちに大人気
畜産まつり



10月2日、2年ぶりとなる「畜産まつり」が田原ふれあい公園内で盛大に開かれました。



BBQを焼く
門倉敏夫畜産会
副会長（左）

今年が一番人気は
初登場の乗馬体験



豚肉のバーベキューも販売され、お昼前には完売してしまいました



ご購入を

全国農業新聞

全国農業新聞は、最新の農業情勢の提供と解説、先進農家の経営紹介、農業入門など読んで役立つ情報が満載です。

- 毎週金曜日発行
- 購読料 月 600 円
- お申し込みは、地元の農業委員 または、農業委員会 ☎ 82-9654

節税効果が大い
農業者年金で
実質所得のアップと老後の安心を！

農業者年金は、加入者数・受給者数に影響されにくい個人ごとの積立方式（確定拠出型）の公的年金です。貯蓄の感覚（将来のために積立てる）で加入し税制メリットを受け実質所得の向上を図りましょう！

◎支払う掛金は、全額社会保険料控除の対象（最高で年額804,000円）となります。

★民間の個人年金の社会保険料控除は、上限5万円です。

◎所得税・住民税が節税になります。これにより掛金の15%～30%程度の節税効果があります。（ご自身の年金でなくても大丈夫）

◎将来受け取る年金も、公的年金等控除が適用されます。

（公的年金による収入の合計額が120万円までは全額非課税です。※65歳以上）

保険料支払いによる節税効果の試算（所得税・住民税）

税率	掛金(保険料)の額
	月額2万円(年24万円)
15%	36,000円
20%	48,000円
30%	72,000円

次の要件を全て満たす方ならどなたでも加入できます。

- ① 20歳以上で60歳未満の方
- ② 年間60日以上農業に従事
- ③ 国民年金の第1号被保険者



問い合わせ 農業委員会事務局：電話 82-9654
秦野市農協共済課：電話 81-7715

編集後記

農業委員会に新たに女性委員3人が加わりました。大変

意義あることだと思います。

農業の分野でも機械化が進んでいるにも関わらず、それを中心に操作しているのは男性で、きつい仕事は相変わらず女性が担っています。これでは作業能率からいっても悪いし、女性にあつては魅力ある職業になりえない気がします。「はだのじばさんず」の盛況も女性の力が大いに発揮された結果でないでしょうか。女性の視点から問題提起をして頂き、秦野市農業委員会の活性化を図って頂ければ幸いです。

（編集委員 岩田俊吉）

